

# TWO PORT DVI KVM SWITCH



ユーザーマニュアル

---

CS-1262

## 注意

この装置は FCC(米国連邦通信委員会)規則、パート 15 の副章 J に従い、デジタル装置クラス B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。



## 同梱品

### 基本パッケージ

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

- ◆ CS-1262 DVI-オーディオ KVM スイッチ × 1
- ◆ USB KVM ケーブル (2L-7D02P: 1.8m) × 2
- ◆ 電源アダプタ × 1
- ◆ ユーザーマニュアル (本書) × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本装置と接続されたデバイスの破損を防ぐために、本ユーザーマニュアルをご使用前によくお読みになり、正しい手順に従ってインストールし、ご使用ください。

© Copyright 2004-2005 ATEN® International Co., Ltd.

Manual Part No.PAPE-1259-100G

Printed in Taiwan 07/2005

製品名等は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

本マニュアルについて	5
マニュアル表記について	5
第1章 はじめに	6
製品概要	6
製品特長	7
必要ハードウェア環境	8
コンソール	8
コンピュータ	8
ケーブル	8
製品各部説明	9
CS-1262 フロントパネル	9
CS-1262 リアパネル	10
第2章 ハードウェアセットアップ	11
ケーブル接続	11
第3章 基本操作	13
ホットプラグ	13
電源オフ、再起動	13
ビープ音設定	13
ポート切替	14
ボタンを直接押してポートを切り替えるには:	14
ホットキー操作でポートを切り替えるには:	14
オートスキャン	15
ホットキー操作一覧表	16
付録	17
DVIコネクタ ピンアサインメント	17
仕様	18
製品保証規定	19

## 本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは CS-1262 に関する情報や使用方法について説明しており、取付け配置方法、操作方法の全てを提供しています。マニュアルの構成については下記をご参照ください。

- 第 1 章** はじめに: CS-1262 導入の目的・機能・利益の紹介、またフロント・リアパネルについて説明します。
- 第 2 章** ハードウェア セットアップ: CS-1262 のセットアップ方法について説明します。
- 第 3 章** 基本操作: ポート切替、電源オン・オフ、ホットキー操作について説明します。
- 付録** マニュアル末尾には CS-1262 についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

## マニュアル表記について

[      ]                                    入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1.    番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆    ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→    矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

# 第1章 はじめに

## 製品概要

---

master view™ CS-1262 は従来の PS/2 タイプ KVM スイッチに高画質の DVI ビデオ対応の機能を導入した製品です。1 組のコンソールから、DVI 対応のコンピュータを 2 台接続して切替操作することができます。

DVI(Digital Visual Interface)は高画質なビデオ環境を実現するデジタル信号通信の規格です。従来のアナログ信号通信に変わって、フラットパネルディスプレイや大型液晶ディスプレイ、プラズマテレビ、大型プロジェクター等で採用されています。

CS-1262 はマイクロフォン・スピーカーのオーディオ機能にも対応しています。接続されたそれぞれのコンピュータへ、マイク入力/スピーカー出力が可能です。またポートに接続されたコンピュータのコンソール選択と、このオーディオ機能は独立して切り替えることができます。つまり、ひとつのコンピュータでマルチメディアタイトルを実行中に、コンソール操作のみを別のコンピュータに切り替えて他のアプリケーションを操作することが可能です。

コンピュータポート切替えは便利な 2 つの方法によって行います。

1. フロントパネルにあるポート選択ボタン
2. キーボードからのホットキー入力

CS-1262 のセットアップは非常に簡単です。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続するだけです。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。master view™ CS-1262 の導入より時間とコストの節約になる方法はありません。接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- ◆ それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- ◆ 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- ◆ 省電力
- ◆ コンピュータから他のコンピュータへと絶えず動き回る無駄な労力を削減

## 製品特長

---

- ◆ DVI 対応 2 ポート KVM スイッチ
- ◆ 1 台のコンソールで 2 台のコンピュータを切替操作
- ◆ DVI-D、DVI-I に完全対応
- ◆ KVM コントロール/オーディオは独立切替が可能
- ◆ ポート切替方法—本体フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー
- ◆ 簡単セットアップ—ソフトウェア不要
- ◆ PS/2 キーボード・マウス エミュレーション
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ ポートの状態は LED で表示
- ◆ オートスキャン機能搭載
- ◆ VGA 解像度—最大 1,600 × 1,200; DDC2B 準拠
- ◆ 対応プラットフォーム—PC 互換 (Win、Linux)

## 必要ハードウェア環境

### コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した DVI 対応モニター
- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ スピーカー/マイクロフォン(オプション)


### コンピュータ

接続するコンピュータが以下の装置を搭載している必要があります。

- ◆ DVI 出力可能なビデオカード
- ◆ PS/2 キーボードポート
- ◆ PS/2 マウスポート
- ◆ ミニオーディオジャック(オプション)

### ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下の CS-1262 対応 KVM ケーブルをご使用になることを推奨いたします。

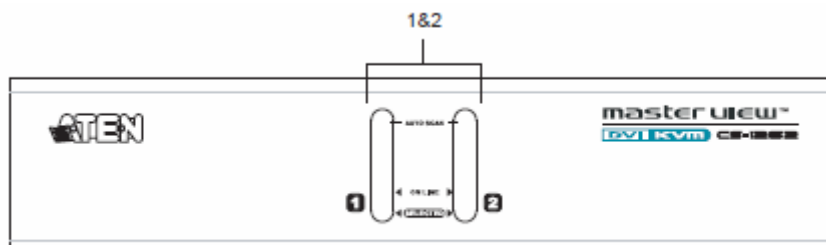
製品画像	機能	型番と長さ	
	PS/2 KVM ケーブル	2L-7D02P (1.8m)	
	スイッチ側		DVI-I オス × 1 ミニ DIN 6 ピン メス × 2 ミニオーディオジャック × 2
	コンピュータ側		DVI-I オス × 1 ミニ DIN 6 ピン メス × 2 ミニオーディオジャック × 2



# 製品各部説明

---

## CS-1262 フロントパネル



### 1. ポート選択ボタン

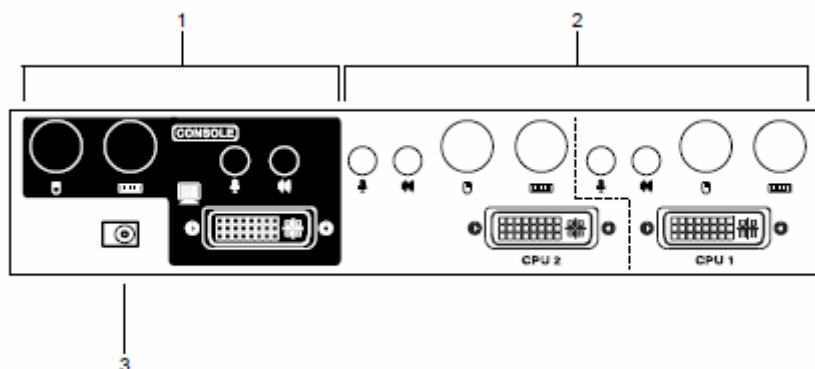
フロントパネルのボタンを直接押すと、対応するポートにコンソールを切り替えることができます。CS-1262 は KVM コントロール/オーディオの独立切替が可能です。詳細は P.14 をご参照ください。

### 2. ポート LED

ポート LED はポート選択ボタンに内蔵されています。上部の LED がオンライン LED、下部の LED が選択ポート LED です。

- ◆ オンライン LED (オレンジ) が点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータの電源がオンであることを示します。
- ◆ 選択ポート LED が点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータがコンソールで選択されていることを示します。

## CS-1262 リアパネル



### 1. コンソール側ポートセクション

お使いになるコンソールのケーブルをこちらに接続します。

### 2. コンピュータ側ポートセクション

製品同梱の KVM ケーブルを使用して、コンピュータを接続します。同一ケーブルの PS/2 キーボード、PS/2 マウス、DVI、スピーカー、マイクロフォンの各コネクタは、同じポートに接続するようにしてください。

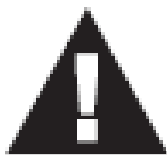
### 3. 電源ジャック

同梱の電源アダプタをこちらに接続します。

# 第2章

## ハードウェアセットアップ

### セットアップの前に



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

### ケーブル接続

---

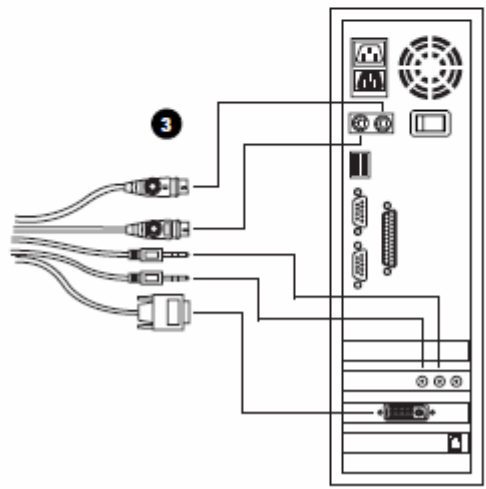
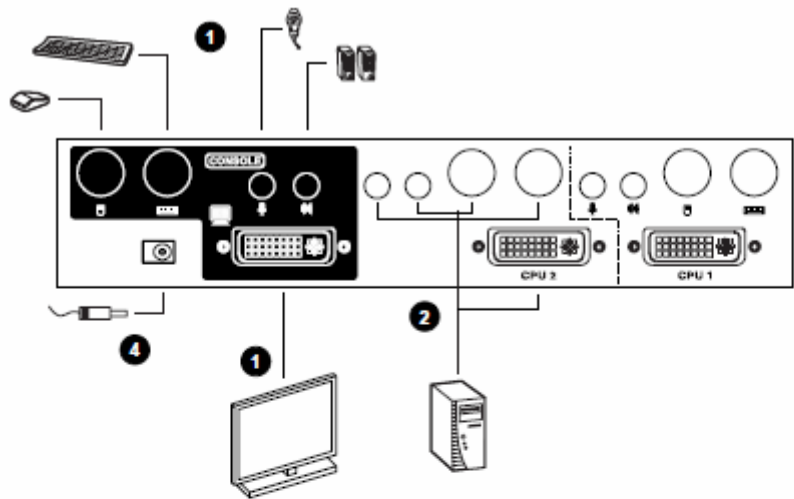
GS-1262 のセットアップは次ページの図を参考にしながら、以下の手順に従い作業を進めてください。

1. お使いになる PS/2 キーボード・PS/2 マウス、DVI モニタ、スピーカー、マイクロフォンの各ケーブルをリアパネルのコンソールポートセクションに接続してください。
2. 同梱の KVM ケーブルセットの DVI、PS/2 コネクタ、ミニオーディオジャックをリアパネルのコンピュータ側ポートに接続します。

**注意:**

- 1) ケーブル分岐部分の短いものが KVM スイッチ側、長いものがコンピュータ側となります。
  - 2) 同一ケーブルのコネクタはすべて同一のコンピュータポートに接続してください。
  - 3) ポートには接続するコネクタのアイコンが表示されています。
3. KVM ケーブルの別的一端をコンピュータに接続します。接続するコンピュータそれぞれに対し 2.~3. のステップを繰り返してください。
  4. 電源アダプタをリアパネルの電源ジャックに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。

これでケーブル接続の作業は終了です。接続したコンピュータの電源をオンにしてください。



# 第 3 章

## 基本操作

### ホットプラグ

---

CS-1262 はコンソール側でホットプラグに対応しています。システムやスイッチのシャットダウンをせずにキーボード・マウスの接続・取り外しが可能です。

### 電源オフ、再起動

---

CS-1262 を取り外す必要がある場合は、再接続の前に以下の手順に従ってください。

1. CS-1262 に接続している全てのコンピュータをシャットダウンしてください。

**注意:**

キーボード起動機能がついているコンピュータが接続されている場合は、そのコンピュータの電源アダプタも抜かなければいけません。そうしないとコンピュータは電源が供給されている状態のままになっています。

2. スイッチに接続した電源アダプタを抜いてください。
3. スイッチへの電源アダプタ再接続は 10 秒以上待つてから行ってください。
4. スイッチに電源が供給されたのを確認した後にコンピュータの電源を入れてください。

### ビープ音設定

---

CS-1262 は以下のような場面でビープ音を発して操作をお知らせします。

ビープ音種類	場面
ビープ音 1	手動によるポート切替時
	オートスキャンモード開始時
	ビープ音設定変更時 (ON→OFF)
ビープ音 2	電源投入時
	オートスキャンモード終了時
	ホットキーによるポート切替時
	ビープ音設定変更時 (OFF→ON)

ビープ音を OFF にしたい場合は、こちらのホットキー操作を行ってください。

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [B] [Enter]

このホットキー操作はビープ音 ON/OFF を切り替えます。元に戻す場合はもう一度この操作を行ってください。

## ポート切替

CS-1262 のポート切替は、フロントパネルの切替ボタンを押す、または便利なホットキー操作によって行います。

ボタンを直接押してポートを切り替えるには：

- ◆ フロントパネルのポート選択ボタンを押してすぐに離すと、KVM コントロールのみが押したボタンに対応するポートに切り替わります。LED 表示は押した KVM コントロールのグリーンのみが点灯します。この操作ではオーディオの選択は切り替わりません。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押し続けたままにすると、KVM コントロール・オーディオすべての選択に対応するポートに切り替わります。LED 表示も押したポート側がすべて点灯します。
- ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押し続けたままにするとオートスキャンモードになります。詳細は P.15 をご参照ください。
- ◆ オートスキャンモード中に任意のポート選択ボタンを押すとオートスキャンを中止し、そのポートに KVM コントロールを切り替えます。

ホットキー操作でポートを切り替えるには：

キーボードからの便利なホットキー操作により、ポート切替が可能です。コマンドについては以下の表をご覧ください。

ホットキーコマンド	操作内容
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、オーディオのすべてを同時に次のポートに切替えます。切替え順はポート 1→ポート 2→ポート 1→ポート 2→…となります。  注意： この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用されていても強制的に次のポートに切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。KVM 選択は現在のポートのままです。

## オートスキャン

CS-1262 のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的に KVM コントロールを切替えます。この機能によって、手動で操作しなくても接続されたすべてのコンピュータの状態を監視できます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキーコマンド	操作内容
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>5 秒間隔</b> で切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが指定した間隔(1~20 秒)で切替わります。[n] は 1 から 4 までの数字を入力します。各設定は以下のようになっております。 [n]=1→3 秒 =2→5 秒 =3→10 秒 =4→20 秒
[Esc] または スペースキー	オートスキャンモードを終了して通常の操作に戻ります。

### 注意:

1. オートスキャンモードでは設定した間隔でモニタ表示を次々に切替えますが、キーボード・マウス・オーディオの各選択は、オートスキャンを開始したポートで固定された状態となります。
2. オートスキャン実行中、キーボード・マウス入力はサスペンド状態となり、オートスキャン中に有効なキー操作のみ([Esc]キーまたはスペースキー)が反映されます。

## ホットキー操作一覧表

ホットキーコマンド	操作内容
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、オーディオのすべてを同時に次のポートに切替えます。切替え順はポート 1→ポート 2→ポート 1→ポート 2→…となります。  <b>注意:</b> この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中でも強制的に次のポートに切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。KVM 選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>5 秒間隔</b> で切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが指定した間隔(1~20 秒)で切替わります。[n]は 1 から 4 までの数字を入力します。各設定は以下のようになっております。 [n]=1→3 秒 =2→5 秒 =3→10 秒 =4→20 秒
[Esc] または スペースキー	オートスキャンモードを終了して通常の操作に戻ります。



## DVI コネクタ ピンアサインメント

ピン	信号	ピン	信号
1	TMDS Data 2-	16	Hot Plug Detect
2	TMDS Data 2+	17	TMDS Data 0-
3	Ground	18	TMDS Data 0+
4	N.C.	19	Ground
5	N.C.	20	N.C.
6	DDC Clock	21	N.C.
7	DDC Data	22	TMDS Data Shield
8	Analog Vertical Sync	23	TMDS Clock+
9	TMDS Data 1-	24	TMDS Clock-
10	TMDS Data 1+	C1	Analog Red
11	Ground	C2	Analog Green
12	N.C.	C3	Analog Blue
13	N.C.	C4	Analog H-Sync
14	+5V Power	C5	Analog Ground (Analog RGB Return)
15	Ground (Return for +5V, H-Sync and V-Sync)		

## 仕様

機能		CS-1262	
コンピュータ接続数		2	
ポート選択		プッシュボタン、ホットキー	
コンソール側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	モニタ	DVI-I メス	× 1
	オーディオ	ミニオーディオジャック	× 2
コンピュータ側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス	× 1
	ビデオ	DVI-I メス	× 1
	オーディオ	ミニオーディオジャック	× 2
LED	オンライン	オレンジ	× 2
	選択ポート	グリーン	× 2
電源ジャック		AC 電源アダプタ	× 1
スキャンインターバル		3、5、10、20 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
キーボード/マウス エミュレーション		PS/2	
VGA 解像度		1,600 × 1,200; DDC2B 準拠	
電源仕様		DC 5.3V	
消費電力		3.2W	
動作環境	動作温度	0~50°C	
	保管温度	-20~60°C	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		800g	
サイズ (W×D×H)		200 × 74.5 × 42mm	

## 製品保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。